

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書

①本体セット

名 称	員 数
① 本体	1

②笠木セット

名 称	員 数
② 笠木	1
③ 笠木ジョイント	1

③中間柱

名 称	員 数		
	A	B	C
④ 中間柱A	1	—	—
⑤ 中間柱B	—	1	—
⑥ 中間柱C	—	—	1
⑦ ポスト受け	—	—	1
⑧ 本体取付ネジ M5×12ナベ小ネジ	6	6	6

④端部柱セット

名 称	員 数		
	A	B	C
⑨ 端部柱A	1	—	—
⑩ 端部柱B	—	1	—
⑪ 端部柱C	—	—	1
⑦ ポスト受け	—	—	1
⑧ 本体取付ネジ M5×12ナベ小ネジ	5	5	5

⑤90°コーナー柱セット

名 称	員 数		
	A	B	C
⑫ 90°コーナー柱A	1	—	—
⑬ 90°コーナー柱B	—	1	—
⑭ 90°コーナー柱C	—	—	1
⑦ ポスト受け	—	—	1
⑧ 本体取付ネジ M5×12ナベ小ネジ	4	4	4

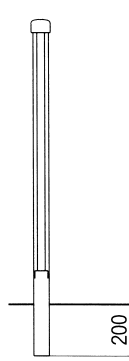
⑥笠木キャップセット

名 称	員 数
⑮ 端末笠木キャップ	2
⑯ 笠木キャップ取付ネジ M4×10ナベ小ネジ	4

1.基本寸法および施工図

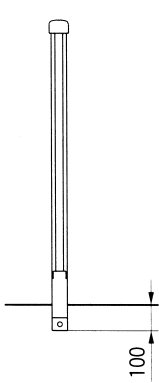
A

埋込型



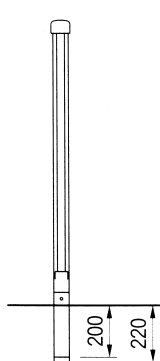
B

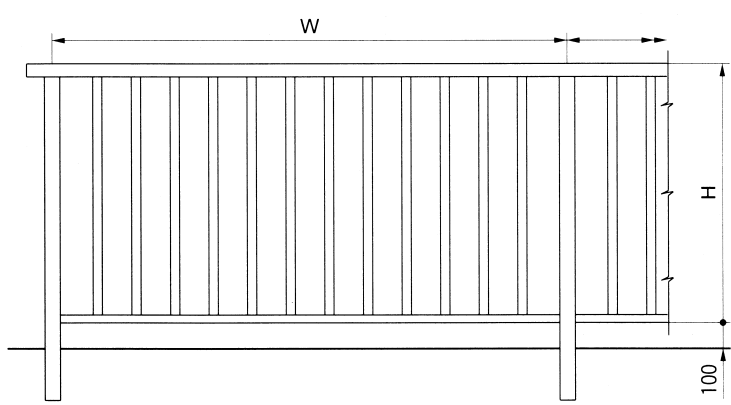
アンカーアングル型



C

脱着型





	H	W
18-9	900	1800
18-11	1100	1800
20-9	900	2000
20-11	1100	2000

2. 柱の仮施工

- あらかじめ1800ないし2000ピッチであけておいた下穴に向きに注意しながら柱を差し込んで行って下さい。ただし、この時は仮施工の状態にしておき、コンクリートで固定しないで下さい。
- Cタイプに関しては下穴にポスト受けを設置した後コンクリートを十分硬化させて下さい。その後柱をポスト受けに差し込んで下さい。

3. 90°コーナー柱の仮施工

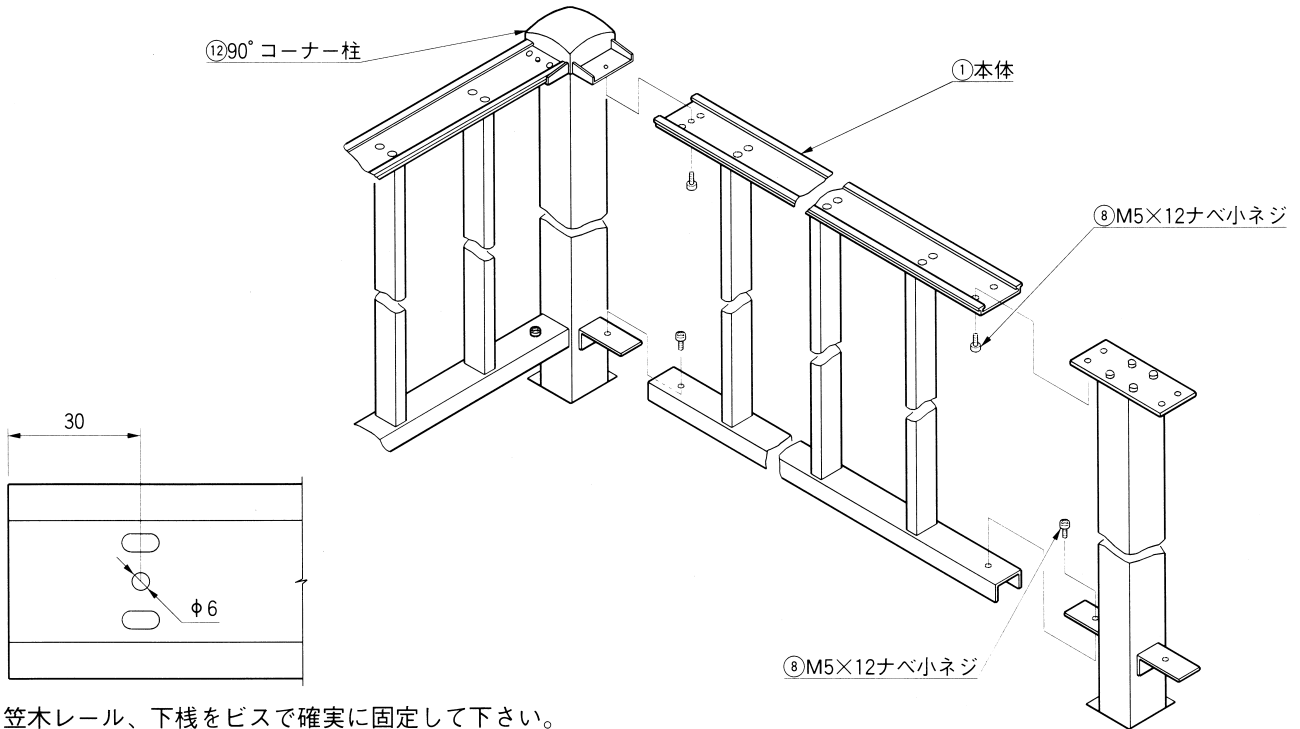
- 2.と同様に90°コーナー柱に関しても下穴に柱を差し込んで仮設の状態にしておいて下さい。
- Cタイプに関しても2.と同様にポスト受けを下穴に差し込んだ後完全に固定して下さい。その後ポスト受けに柱を差し込んで下さい。

4. 本体の取付け(1)…中間部

- 仮施工状態の端末柱から順番に本体の笠木レールを柱の笠木クリップに、下棧を下棧クリップに取り付けて下さい。この時必ず片側から順に本体を取り付けて行って下さい。
- その後笠木レール、下棧をビスで確実に固定して下さい。

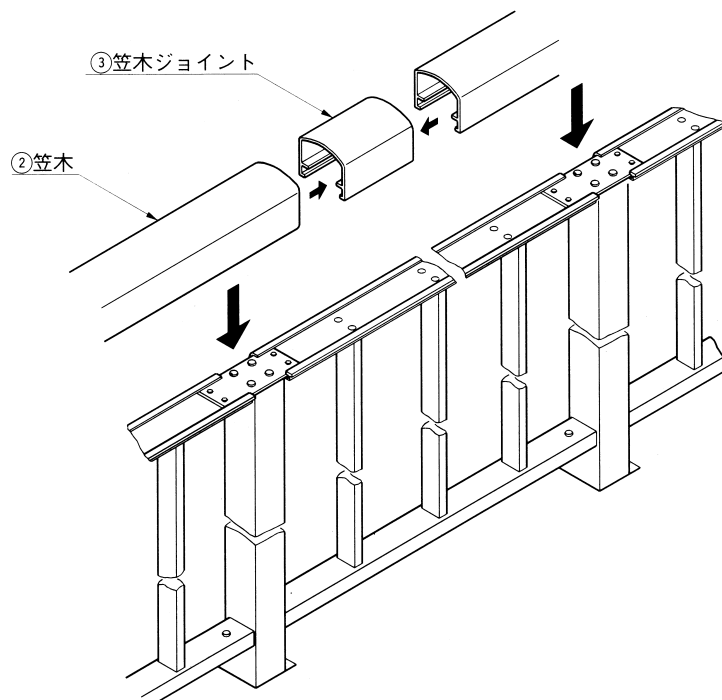
5. 本体の取付け(2)…90°コーナー柱

- 4.と同様に、90°コーナーの場合も片側から順番に本体を取り付けて行って下さい。
- この時90°コーナーエルボーに取り付ける部分の笠木レールには、下記の様な加工をして下さい。



- 笠木レール、下枠をビスで確実に固定して下さい。

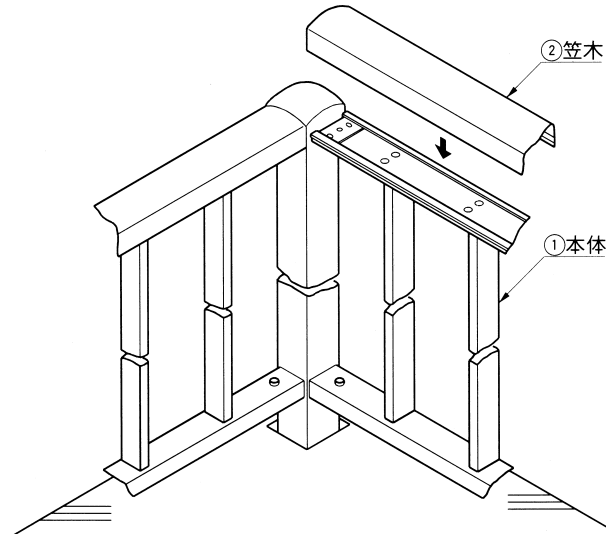
6. 笠木の取付け(1)…一般部



- 笠木を付属の笠木ジョイントを継ぎ目に差し込みながら本体の笠木レールの上のせて行き、端部から順にたたき込んで行って下さい。
- 笠木を取り付けた後、柱はコンクリートで十分固定させて下さい。

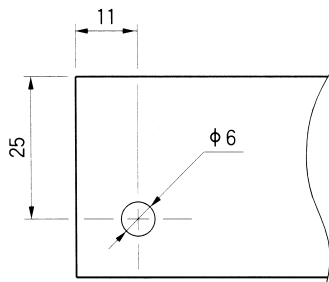
7. 笠木の取付け(2)…90°コーナー部

- 90°コーナー部も同様にして本体笠木レールの上のせた笠木をたたき込んで下さい。



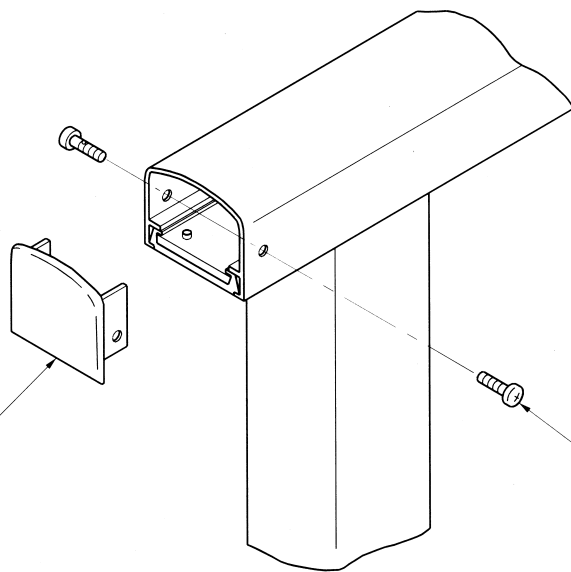
- 笠木を取り付けたら柱をコンクリートで十分固定して下さい。

8. エンドキャップの取付け



- 笠木末端部に上図の様な穴加工を施して下さい。

⑮ 端末笠木キャップ



⑯ M4×10ナベ小ネジ

- 端末笠木キャップをM4×10のビスで止めて下さい。

工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けて下さい。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取って下さい。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡し下さい。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取って下さい。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取って下さい。

取説コード

C116

IE-D①